

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-1	平井宏和 教授	群馬	脳細胞への遺伝子導入法開発、薬剤の神経細胞機能やシナプス伝達に対する影響評価	神経変性疾患	小脳	遺伝子治療
ラ-2	松尾一郎 教授	群馬	糖鎖や糖質関連化合物の合成、糖修飾化合物の合成、糖質関連酵素の解析、糖鎖構造解析 機器分析装置 (NMR、MALDI-TOF MS、LCMSなど) による有機化合物の構造解析	糖鎖合成	糖質関連酵素	糖ペプチド
ラ-3	佐伯俊彦 准教授	群馬	電気泳動でのタンパク質の分離解析、タンパク質の質量分析	電気泳動	質量分析	培養細胞
ラ-4	大友征宇 教授	茨城	太陽エネルギー変換、膜タンパク質の構造と機能解析	光合成	膜タンパク質	色素分子
ラ-5	田内広 教授	茨城	動物細胞培養 遺伝子解析手法 放射線安全に関する事項	DNA	分子生物学	がん放射線治療
ラ-6	白岩雅和 教授	茨城	生理活性成分 (特にサポニン) の分析、分離・精製および構造解析、生理活性成分の生合成酵素の精製および性質の解明	大豆	サポニン	呈味性成分
ラ-7	鈴木和浩 教授	群馬	前立腺癌、前立腺肥大症	前立腺癌	前立腺肥大症	ホルモン
ラ-8	武田茂樹 教授	群馬	遺伝子解析、有用タンパク質の大量生産、新規薬理活性物質の探索	受容体	自己組織化	バイオナノマシン
ラ-9	井上裕介 教授	群馬	遺伝子工学全般、細胞培養	肝臓	核内受容体	ノックアウトマウス
ラ-10	小林哲也 教授	埼玉	ホルモンや生理活性物質の機能と作用機構	ホルモン、受容体	シグナル伝達	生理機能
ラ-11	戸嶋浩明 教授	茨城	有機合成、天然物全合成、誘導体合成、有機化合物の構造解析	植物毒素	花芽誘導	脂肪酸
ラ-12	森聖治 教授	茨城	医薬品設計に広がる酵素反応機構 合理的触媒設計	量子化学計算	分子動力学計算	化学反応機構
ラ-13	西川陽子 教授	茨城	アスコルビン酸の分析	アスコルビン酸	食品化学	食教育
ラ-14	齋藤繁 教授	群馬	鎮痛薬の開発・改良 リハビリテーション器具の開発 酸素供給器具の開発	鎮痛薬	麻酔薬	重症患者管理
ラ-15	尾崎広明 教授	群馬	修飾核酸の物性評価、核酸の蛍光標識化、修飾核酸の化学合成	修飾核酸	DNA	蛍光標識化
ラ-16	田中秀逸 教授	埼玉	遺伝子操作、遺伝子機能解析、分子育種	アカハシガビ	糸状菌	微生物遺伝学
ラ-17	塚原伸治 教授	埼玉	神経内分泌学、化学物質の毒性評価スクリーニング	ホルモン	脳発達	性差
ラ-18	長南茂 教授	茨城	医学・医療、脳科学、物質生産	コエンザイムA	パントテン酸	代謝
ラ-19	畑田出穂 教授	群馬	エピゲノム解析 ES細胞作成	エピジェネティクス	エピゲノム	
ラ-20	奥津哲夫 教授	群馬	光化学の基礎 結晶成長学	光化学	結晶成長	光線力学療法
ラ-21	奥浩之 准教授	群馬	高分子材料・食品・化粧品 の分析・評価、機器分析 (X線結晶解析、NMR、分子構造など)	ペプチド	高分子材料	検査デバイス・検査キット
ラ-22	日原由香子 教授	埼玉	シアノバクテリアの培養、遺伝子操作、代謝改変、物質生産	シアノバクテリア	転写制御	光合成
ラ-23	是枝 晋 講師	埼玉	光合成活性測定、代謝産物量定量、酵素活性測定、遺伝子発現解析、遺伝子系統解析	光合成	カルビン回路	多肉植物型酸代謝 (CAM)
ラ-24	竹澤大輔 教授	埼玉	植物の無菌培養、遺伝子組み換え植物の作出、脱水および凍結耐性の評価	コケ植物	環境ストレス	凍結傷害
ラ-25	高橋 亮 助教	群馬	食品分析、食品開発、増粘・ゲル化剤、高分子分析	食品分析	非破壊分析	おいしさ
ラ-26	松岡浩司 教授	埼玉	生体適合性物質を有機合成的に扱う。クラスター型化合物の多点結合による飛躍的な活性向上。蛍光発光等を利用したテーラーメイドなバイオプローブ。クラスター型毒素中和剤を世界に先駆けて創出!!2種類の蛍光を利用する高分子型生質を世界で初めて合成!!精密有機合成を行い、標的となる種々のクラスター型化合物への誘導が可能であり、感度も数百から数千倍の向上が見込める。特許も多数出願実績あり!!!	複合糖質	糖鎖	有機合成
ラ-27	尾関和秀准 教授	茨城	生体材料、薄膜工学	DLC	ハイドロキシアパタイト	酸化チタン
ラ-28	小竹敏久 教授	埼玉	植物試料からの多糖類の抽出や同定を行っています。多糖類を同定・定量する手法を持っています。特異的な分解酵素による多糖類の構造改変 (低分子化) や同定を行っています。	植物細胞壁	多糖類	アラビノガラクトサン
ラ-29	畠山 晋 准教授	埼玉	難治性ミトコンドリア病の解明のためには、未同定の遺伝子の機能の解明が必要。ヒトにおいて新たに遺伝子を解明するには倫理上の問題が多い。遺伝学的解析に優れており、ミトコンドリアを有するアカバシカビを用いることで新規のアプローチが可能	寿命	老化	ミトコンドリア
ラ-30	川村隆三 准教授	埼玉	モータータンパク質を架橋して作るゲルで、生細胞にマイクロスケールの動的。細胞微小環境を構築できる。(顕微鏡で動きを観察することができる)。モータータンパク質は、生物(ブタ等)由来なので高い生体適合性が期待できる。(細胞培養環境との共存化に成功している)	細胞培養	ゲル材料	がん診断
ラ-31	前田公憲 准教授	埼玉	生体への電磁波や磁場の影響に関する基礎研究。磁場と生体の概日リズムの関係のメカニズムと関連しています。生体の研究からスピニエレクトロニクスなどの新しい量子デバイスへの応用が期待される。	動物の磁気感受	スピニエレクトロニクス	スピニデバイス
ラ-32	幡野 健 准教授	埼玉	標的とするウイルス、タンパク質がある時にだけ発光する『見える化』を実現。高輝度に発光するので、高感度検出が可能 (既存製品の1,000倍高感度)。発光色を変えることも可能 (青、緑・黄・橙)。光による劣化 (光退色) をしない非常に安定な蛍光分子。低コストでの製造が可能	ウイルス・病原体検出	見える化	可視化
ラ-33	鈴木美穂 准教授	埼玉	バイオプローブの組合せの多様性により生体内信号伝達過程を複数同時モニター可能。バイオプローブの感知対象はタンパク質、核酸、糖、小分子、等々に対応。新たな感知対象に向けた新規バイオプローブ作製可能。バイオプローブの使用可能波長は全可視光領域を網羅。バイオプローブ作製法や応用、計測法など複数特許化	バイオプローブ	診断	ドラッグデリバリー
ラ-34	町原秀二 教授	埼玉	分散型偏微分方程式の初期値問題において解を捕まえる関数空間をいかに選ぶかが重要なポイントとなります。関数空間の一例であるソボレフ空間における正則度を表す指数の低減化は国内外の研究者が競って研究しています。定理の進展もそうですが、それを導く解析的技術が注目されます。	偏微分方程式	可解性、非可解性	ソボレフ空間
ラ-35	楓 和憲 准教授	埼玉	生活の質を向上させる機器の操作入力デバイスに関心があります。使いやすさの追求、操作に対する満足感を提供できる方法について研究を行っています。 制動力のみを利用した力覚の呈示は、人間との衝突や過負荷に対する安全性、低騒音性が要求される装置に応用可能であると考えています。	操作入力支援	抵抗トルク呈示	ジョイスティックレバー
ラ-36	山口雅利 准教授	埼玉	・細胞壁形成機構に関わる遺伝子を多数同定 ・バイオマス利活用による有用な植物体作出を行う ・特許出願実績あり ・細胞壁形成以外の植物の生理現象についても遺伝子レベルで解明することもできる	植物細胞壁	リグノセルロースバイオマス	植物分子育種

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-37	戸澤 譲 教授	埼玉	通常組換え系では機能を再現することが困難なタンパク質を高品質で生産可能。膜タンパク質も脂質膜の添加条件により機能を持った形で作ることができる。活性を失いやすい酵素タンパク質も安定的に合成することが可能。改変酵素遺伝子の利用に関する国際特許出願あり	タンパク質機能解析	植物遺伝子発現	試験管内タンパク質合成
ラ-38	上野茂昭 准教授	埼玉	従来法および新規測定法を積極的に取り入れ、食品の様々な品質特性を評価します。全く新しい視点での加工技術および食素材の開発を行っています。あらゆる食品を対象としています	食品	非加熱加工	凍結解凍
ラ-39	齋藤伸吾 教授	埼玉	キャビラリー電気泳動法を使ってタンパク質や細胞に対する高性能な核酸アプタマーを獲得できる。従来よりも高速にかつ確実にアプタマーの選抜が可能。アプタマー同士を結合させた多点認識アプタマーの設計が可能	DNAアプタマー	キャビラリー電気泳動	アプタマー選抜法
ラ-40	島田 裕 准教授	埼玉	種々の形式のデータのネットワークによる可視化・解析が可能。ネットワーク解析に加え、データの非線形(カオス)時系列解析も可能	データ解析	ネットワーク解析	非線形時系列解析
ラ-41	津田佐知子 准教授	埼玉	光技術を駆使した、脳の情報処理ネットワークの構築メカニズムの解明 ・新規膜電位イメージング(電位の変化を光学的に検出)、カルシウムイメージングによる、個体レベルでの神経活動の可視化技術 ・生体組織の形と活動についての、3次元解析技術	光技術	神経ネットワーク構築	小型魚類
ラ-42	井上栄一 教授	茨城	植物の遺伝子マーカー開発 園芸分野に関する事	園芸作物	果樹	生理障害
ラ-43	行木信一 准教授	群馬	遺伝子工学全般、Flow cytometry解析、蛋白質精製、NMRによる蛋白質の立体構造解析	翻訳系	蛋白質合成系	リボソーム
ラ-44	高橋 剛 准教授	群馬	ペプチド合成、ペプチドライブラリの作製および有用ペプチドの探索	ペプチドライブラリ	タンパク質工学	ケミカルバイオロジー
ラ-45	二村圭祐 教授	群馬	次世代シーケンシングを用いたゲノムや遺伝子発現、DNAバーコードなどの解析、バイオイノフォマティクス、腫瘍へのmRNA導入、FACS解析、細胞のソーティング、腫瘍免疫	次世代シーケンシング	フローサイトメトリー	腫瘍
ラ-46	武井雄一 准教授	群馬	精神医学、心理学、神経心理学、電気生理学など知見、時系列データに関連した解析技術など	脳磁図	オシレーション	精神疾患
ラ-47	神谷厚輝 准教授	群馬	人工細胞膜リボソームの作製、膜タンパク質の発現・精製、タンパク質機能観察、各種顕微鏡観察、パッチクランプ測定、マイクロ流体デバイス作製	リボソーム工学	タンパク質工学	マイクロナノシステム
ラ-48	杉山友太 准教授	群馬	ヒト腸内細菌による食餌成分代謝機構の解明 ヒト腸内細菌の遺伝子操作	腸内細菌	遺伝子	糖質関連酵素
ラ-49	山上徹也 教授	群馬	介護予防、認知症予防、リハビリテーション、福祉用具、生活環境支援/健康寿命の延伸、地域包括ケアシステム(住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる社会の構築)	高齢者	リハビリテーション	日常生活
ラ-50	大森 玲子 教授	宇都宮	食生活学、生活科学 ・現代的課題に応じた食教育プログラムの開発・検証 ・地域住民の食と健康に関する研究 ・ライフステージに応じた食支援のあり方	食生活学	食教育	健康づくり
ラ-51	青山 真人 教授	宇都宮	・家畜のストレス、特に輸送に伴うストレス ・ウマの精神性発汗に関する研究 ・有害野生鳥獣の被害防除	ストレス評価	輸送ストレス	アニマルウェルフェア
ラ-52	岩永 将司 教授	宇都宮	・昆虫ウイルスによる宿主制御機構の解明 ・昆虫ウイルスを利用した外来タンパク質発現系の構築	昆虫ウイルス	バキュロウイルス	BEVS
ラ-53	香川 清彦 助手	宇都宮	応用昆虫学 ・アブラムシ類の分類、生活環、多型性に関する研究	アブラムシ	生活環	農薬
ラ-54	柏木 孝幸 准教授	宇都宮	・イネの下位部支持力に関与する量的形質遺伝子座 ・イネにおける稈の物理強度に関与する量的形質遺伝子座 ・米の食味関連形質に関与する量的形質遺伝子座	イネ	倒伏抵抗性	DNAマーカー選抜
ラ-55	栗原 望 講師	宇都宮	形態学、分類学、動物学 ・哺乳類の体性感覚 ・種内の形態変異の解析(奇形や破格なども含む) ・海棲哺乳類の分類	哺乳類	鯨類	機能形態
ラ-56	黒倉 健 准教授	宇都宮	生物資源科学、園芸学 ・バラ科成長制御機構の分子的生理学的解明 ・栽培イチゴの祖先種の解析	園芸作物	植物生理	分子生物学
ラ-57	神山 拓也 助教	宇都宮	作物学 ・低リン耐性を持つ品種はどう効率よくリンを吸っているの？ ・根は局所的なリン施肥にどう応答しているの？ ・簡単に湿害を診断するには？ ・簡単に湿害を軽減するには？	ダイズ・ムギ・ソバ	根系	リン
ラ-58	園田 昌司 教授	宇都宮	植物保護学 ・重要害虫の薬剤抵抗性管理に関する研究 ・天敵を用いた害虫管理技術の開発 ・昆虫の生理・生態に関する研究	害虫管理	薬剤抵抗性	天敵利用
ラ-59	豊島 由香 准教授	宇都宮	・栄養状態とインスリン作用に関する研究 ・タンパク質不足と脂肪肝に関する研究 ・インスリンやインスリン様成長因子による代謝調節に関する研究	インスリン	栄養	代謝
ラ-60	西川 尚志 准教授	宇都宮	植物保護 ・トマトに感染するウイルスの遺伝子解析と防除法の開発 ・ムギに感染するウイルスの病原性決定因子の解明 ・各種ウイルスのワクチン開発	植物病理	植物ウイルス	オオムギ・トマト
ラ-61	大庭 亨 教授	宇都宮	生物有機化学、ケミカルバイオロジー ・脳神経系を解析および操作するための薬剤の開発 ・光や放射線を用いるがん治療のための薬剤の開発 ・ナノ医療技術の開発	蛍光プローブ	電位感受性色素	ナノ医療
ラ-62	煉谷 裕太郎 助教	宇都宮	植物病理学、植物保護 ・植物ウイルスの簡易迅速検出系の確立 ・東南アジアで発生する植物ウイルスの調査 ・ウイルスの感染に必要な宿主因子の探索	植物病理学	植物ウイルス学	ウイルス検出・防除

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-63	早川 智恵 助教	宇都宮	自然科学, 農学, 環境 ・火山灰土壌における有機物の分解促進機構に関する研究 ・耕地土壌における土壌炭素貯留に関する研究 ・資源循環型農業を目指した地域の未利用有機物資源の活用方法に関する研究 ・資源循環型農業を目指した地域の未利用有機物資源の活用方法に関する研究	埋没腐植	プライミング効果	土壌微生物
ラ-64	房 相佑 教授	宇都宮	遺伝・育種学 ・アブラナ科植物の雄性不稔系統の育成 ・アブラナ作物の根こぶ病抵抗性系統の育成 ・アブラナ科植物における機能性新型野菜の育成 ・薬用植物の品種改良	アブラナ科	種・属間交雑	遠縁交雑
ラ-65	福井 えみ子 教授	宇都宮	自然科学系 ・高い経済形質を持つウシの遺伝子解析を利用した効率的生産に関する研究 ・家畜における性判別および個体識別に関する研究 ・野生ニホンジカにおける遺伝的多様性および人畜共通感染症に関する研究	個体識別	性判別	遺伝子解析
ラ-66	松本 浩道 教授	宇都宮	・哺乳動物における初期胚発生および着床成立の分子機構 ・体外受精胚における発生と着床能力の改善 ・着床能力の高い胚盤胞を評価 ・選別する手法の開発	初期胚発生	受胎	胚質の評価
ラ-67	山根 健治 教授	宇都宮	園芸学 ・園芸作物の品質保持 ・花の老化のメカニズム ・木本性植物の早期開花	花	品質	生理
ラ-68	吉澤 史昭 教授	宇都宮	栄養生理化学 ・アミノ酸の生理機能の解明 ・栄養素による体タンパク質合成制御の機構解析 ・脳活動情報に基づいたいちごの味に関する解析	タンパク質合成	翻訳制御	アミノ酸
ラ-69	飯郷 雅之 教授	宇都宮	分子生理学, 時間生物学, 光生物学, 光計測 ・動物の体内時計, 季節繁殖, および回遊の分子機構 ・光による生体成分の非侵襲リアルタイム計測技術開発 ・住民参加型生物多様性調査と分子レベルの生物多様性	体内時計	季節繁殖	ホルモン
ラ-70	蕪山 由己人 教授	宇都宮	・皮膚再生とコラーゲン代謝 ・非標準アミノ酸を用いた高機能ペプチドの開発 ・がん細胞の浸潤・転移の栄養生理学的な解析	タンパク質発現プロファイリング	低分子有機化合物のLC-MSを用いた定量解析	タンパク質加水分解物の生理機能解析
ラ-71	加藤 紀弘 教授	宇都宮	機能性高分子、微生物工学、生物工学 ・ヒドロゲルの合成と物性評価 ・細菌間情報伝達機構クオラムセンシング ・細菌感染症・バイオフィーム形成阻害素材の開発	ソフトマター	シクロデキストリン	微生物利用技術
ラ-72	金野 尚武 准教授	宇都宮	環境、材料 ・きのこ類による木材腐朽メカニズムの解明 ・きのこ由来成分を活用した機能性材料開発	きのこ	木材腐朽	多糖
ラ-73	二瓶 賢一 教授	宇都宮	・酵素阻害剤、特にメラニン形成調節剤の開発 ・天然有機化合物の分析・構造解析・有機合成	有機合成	誘導体化	天然有機化合物の分析・構造解析
ラ-74	橋本 啓 教授	宇都宮	食品化学 ・生活習慣病のリスク低下が期待される食品由来成分 ・加工・調理における食品成分の変化 ・食品関連廃棄物の機能性素材化	酵素活性抑制	胆汁酸吸着	食品由来機能性成分
ラ-75	羽生 直人 教授	宇都宮	環境エネルギー ・多糖類の酵素分解による有用物質の産生 ・木質系バイオマスの有効利用	セルロース	木材科学	木材防腐
ラ-76	前田 勇 教授	宇都宮	応用微生物学 ・イネ内生細菌による窒素固定活性の向上 ・食品の発酵に用いられる真菌類の代謝 ・発酵食品製造のスターター乳酸菌の機能性	窒素固定細菌	テルペンアルコール	抗菌物質
ラ-77	水重 貴文 准教授	宇都宮	・食品由来低分子ペプチドの機能性探索 ・食品由来低分子ペプチドの体内動態解析	精神的ストレス	うつ	神経新生
ラ-78	山田 潔 講師	宇都宮	食品免疫学、食品科学 ・食物アレルゲンの低アレルゲン化 ・食物アレルギーを改善する食品成分の探索 ・免疫機能を調節する機能性食品成分の探索	食物アレルギー	低アレルゲン化食品	免疫調節機能
ラ-79	飯山 一平 准教授	宇都宮	土壌物理学 ・土壌中における水分動態の実態解明と予測 ・土壌中におけるガス動態の実態解明と予測	土壌の透水性	土壌の保水性	土壌の通気性
ラ-80	齋藤 高弘 教授	宇都宮	生物環境調節、施設園芸、食品科学、食品工学 ・付加価値の高い植物育成システム(植物工場)の開発 ・施設園芸にける環境調節技術の開発 ・食品、清酒、ビールなどの品質評価と機能性の向上	植物工場	施設園芸	食品
ラ-81	田村 匡嗣 助教	宇都宮	食品工学、食品科学 ・米飯の加工操作に伴う糖質消化性、組織構造、力学物性の変化に関する研究 ・栃木県産農産物(オオムギ、ソバ、チャ)を使った地域食品の開発とその評価 ・Future Foodsの創製	In vitro模擬消化試験	糖質消化性	テクスチャ解析
ラ-82	玉田 洋介 准教授	宇都宮	生命科学、植物分子農学 ・イメージングと光細胞操作による未知の生命現象の解明 ・植物の幹細胞化・再生メカニズムの解明 ・新しいバイオイメーキング法と光細胞操作法の開発	植物の再生能力	イメージング	細胞操作

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-83	菱沼 竜男 准教授	宇都宮	環境、エネルギー ・農畜産物の生産・消費システムの総合的評価手法開発に関する研究 ・農畜産物の省エネルギー型生産システム構築に関する研究 ・ライフサイクル思考を取り入れた食と農の教育プログラム開発の研究	環境影響評価 (LCA)	エネルギー収支 分析	バイオマス利活用
ラ-84	松井 正実 教授	宇都宮	農業機械学、農業情報学 ・トラクタ・コンバイン・田植機の挙動および制御に関する研究 ・農作業安全のための生体情報利用に関する研究 ・穀粒の風選別に関する研究	農業機械	システム開発・自 動化	農作業安全・軽労 化
ラ-85	守山 拓弥 准教授	宇都宮	農村における生態系の解明、保全および利活用 ・農業水路における魚類の生態解明と保全 ・里山における高次捕食者であるフクロウの生態解明と保全 ・歴史史料を用いた江戸・明治期の生物相の解明	農村生態系の解 明	環境アセスメント	生物を利活用した 地域おこし
ラ-86	横田 信三 教授	宇都宮	森林化学 ・樹木の病原菌に対する防御機構 ・木質バイオマスのエネルギー及び原料への化学変換 ・樹木二次代謝産物のメタボロミクス解析	樹病	カバノアナタケ	バイオリファイナ リー
ラ-87	池田 裕樹 准教授	宇都宮	園芸化学 ・トマトの近縁野生種が有する有用形質と遺伝子の解析 ・タマネギのりん茎肥大メカニズムの解明	野菜	栽培	遺伝子
ラ-88	柏寄 勝 准教授	宇都宮	品質維持・評価技術、生産流通環境 ・農産物の高品質維持技術に関する研究 ・非破壊品質評価技術に関する研究 ・日本産果実の高品質輸出技術に関する研究と社会実装	果実	ポストハーベスト	おいしさ推定
ラ-89	高橋 行継 教授	宇都宮	水稻栽培全般に関連した技術改善、普及 ・育苗、施肥技術省力・低コスト化技術、新規肥料・薬剤等の開発 ・生育診断モデル・システムの開発	水稻	栽培技術開発	気象解析
ラ-90	諸星 知広 准教授	宇都宮	環境 ・細菌間コミュニケーション機構の解析と応用 ・植物病原性細菌・植物保護細菌の機能解析と応用 ・生分解性プラスチック分解細菌の生態解明	細菌の培養・単離	細菌叢解析	細菌の遺伝子組 換え
ラ-91	大島 潤一 准教授	宇都宮	環境 ・気象害及び病害虫等が樹木の成長と材質に与える影響の解明 ・森林資源の有効活用	森林被害	気象害・獣害	材質劣化
ラ-92	小寺 祐二 准教授	宇都宮	野生鳥獣管理学、生態学、保全生物学 ・イノシシの繁殖および栄養状態などに関する生態学的研究 ・捕殺された鳥獣の資源利用に関する研究 ・鳥獣管理事業者の心身ケアに関する研究	鳥獣管理	鳥獣による各種被 害管理	生態系保全
ラ-93	小林 浩幸 教授	宇都宮	雑草学 ・雑草の生態、個体群動態に関する研究 ・難防除雑草の管理技術の開発 ・環境保全型農業技術の開発	雑草	生活史	埋土種子集団
ラ-94	児玉 豊 教授	宇都宮	・植物細胞の環境応答と制御 ・新しいバイオテクノロジーの開発	顕微鏡技術	遺伝子組換え	分子生物学
ラ-95	謝 肖男 准教授	宇都宮	天然物化学、質量分析化学 ・根寄生雑草防除法の探索 ・先端機器分析法の開発 ・ストリゴラクトンデータバンクの構築	天然物	質量分析	ストリゴラクトン
ラ-96	鈴木 智大 准教授	宇都宮	生物化学・天然物化学・生命情報学 ・急性脳症を引き起こしたスギヒラタケの毒物質に関する研究 ・冬虫夏草(サナギタケ)の感染過程において発現する遺伝子の解析 ・マコモと黒穂菌の共存・共生の分子機構解明	次世代シーケン サーを用いたゲノ ム・トランスクリプ トーム解析	質量分析装置を 用いたタンパク質 同定	メタボローム解析
ラ-97	野村 崇人 准教授	宇都宮	植物生理学・植物分子生物学・天然物有機化学 ・植物ホルモンに制御される植物生長のしくみを解明 ・植物ホルモンの生合成経路の解明 ・植物生長を制御する新規シグナル分子の探索	植物ホルモン	植物の生長制御	ストリゴラクトン
ラ-98	松田 勝 教授	宇都宮	・小型魚類をモデルとした脊椎動物の性差決定機構解明 ・野生メダカの遺伝的多様性	野生集団遺伝的 多様性	遺伝子解析	発生生物学
ラ-99	宮川 一志 准教授	宇都宮	・ミジンコの環境応答を制御する分子基盤の研究 ・ミジンコの環境応答を利用した環境試験法の開発 ・幼若ホルモン経路の進化がもたらす節足動物の多様化過程の研究	ミジンコ	節足動物	生物の環境応答
ラ-100	奈須野恵理 助教	宇都宮	微生物生態学、生物機能工学、高分子材料工学 ・有機合成プローブによる微生物の二次代謝を制御する細胞間情報伝達機構の可視化 ・抗生物質耐性細菌・ホルムアルデヒド耐性細菌の機能解析と応用 ・乳化破壊能を有するバイオサーファクタント	グラム陰性・陽性 細菌の培養	環境試料からの 有用細菌の探索・ 同定	標的タンパク質を 大量生産する遺 伝子組換え体の 作製
ラ-101	嶋脇 聡 教授	宇都宮	・近赤外光を用いた非侵襲生体情報計測(血管硬度、血中コレステロール、血管内皮細胞機能、動・静血圧) ・母指または母趾爪ひずみの計測 ・ヒト関節運動のシミュレーション(肘屈曲伸展、肩外転、肩前方挙上など) ・上腕前方挙上動作アシスト装置の開発	生体計測	生体構造(骨、 筋、靱帯、血管、 軟組織)	生体の機械的組 織
ラ-102	大西孝幸 准教授	宇都宮	育種学 ・アブラナ科植物中のグルコシノレートに関する研究 ・アブラナ科作物の根こぶ病耐性に関する研究 ・イチゴの倍数性に関する研究	倍数性	生殖隔離	品種改良
ラ-103	佐藤元映 助教	宇都宮	ライフサイエンス、飼料学 ・未利用資源の家畜飼料化 ・反芻家畜用メタン低減飼料の開発 ・ルーメン微生物叢と生産性の関係解析	反芻動物	微生物叢	ルーメン

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-104	逢沢峰昭 教授	宇都宮	ライフサイエンス/森林科学、多様性生物学、分類学 ・山岳地の植物の分布 ・森林植物の分類学的整理 ・森林生物の生態	山/自然/樹木	生物多様性	遺伝
ラ-105	赤坂舞子 准教授	宇都宮	雑草 ・雑草検疫に使用できるDNA情報に基づく識別技術に関する研究 ・雑草検疫に使用できる雑草種子の消毒技術に関する研究 ・水稲乾田直播栽培で発生する雑草に関する研究	雑草検疫	水稲乾田直播	DNA解析
ラ-106	カバリエロ 優子 助教	宇都宮	栄養学、食育、家庭科教育 ・食品の栄養素等の複数の要素の含有量を容易に把握する ・食事と肥満との関連 ・カテキンリッチ破砕ブレンド緑茶の開発と官能検査	栄養疫学	国際栄養	エネルギー代謝
ラ-107	中林 正隆 助教	宇都宮	医用工学、福祉工学、バイオメカニクス ・複合弾性ケーブル機構の機械的トルク制御を用いた安全な手指関節動作支援技術 ・多層配置型リニアソフトアクチュエータを備えた全弾性型流体内推進機構の変形特性の検討 ・鏡視下手術支援のための術具ガイド用マニピュレータ	医用システム	アクアバイオメ ディクス	ソフトロボティクス
ラ-108	石川 智治 教授	宇都宮	感性情報学 ・被服の触感や外観情報の判断を可能にする画像製作と表示技術の基礎研究 ・深い癒しに重要な体感等に注目した「場」の実現に関する研究	五感	感性	心理物理学
ラ-109	伊藤 聡志 教授	宇都宮	医用画像工学 ・磁気共鳴映像法(MRI)の撮像法 ・画像復元処理 ・深層学習を利用した画像処理	MRI	画像処理	画像復元
ラ-110	樋山みやび 准教授	群馬	量子化学計算 古典分子動力学計算 スペクトル解析	生物発光	電子状態理論	原子分子物理
ラ-111	秋山稜登 助教	群馬	【研究テーマ】 ・定量的な視空間認知評価による脳卒中患者の自動車運転再開支援 ・上肢機能・視覚機能の分析、日常生活活動との関連性 【研究ツール】 ・ウェアラブルアイトラッカーによる視線分析 ・リープモーションセンサによる上肢機能評価(上肢運動の時空間評価)	脳卒中の自動車運転再開 視線分析 目と手の協調 日常生活活動		
ラ-112	朝倉智之 助教	群馬	【研究テーマ】 ・sit-to-walk taskにおけるfluidityについて ・理学療法学生への自己主導型学習の経時的変化について 【研究ツール】 三次元動作解析装置、床反力計、重心動揺計、筋電計、加速度計	動作解析、継続教育		
ラ-113	大西浩史 教授	群馬	【研究テーマ】 ・脳内免疫系による老化制御機構の解析 ・RAS-MAPK症候群の分子病態メカニズム解析 ・中枢性代謝制御機構の解析 ・残留農薬が脳神経系に与える影響の解析 【研究ツール】 ・遺伝子改変マウス ・免疫組織化学(マウス) ・行動解析(マウス) ・神経細胞初代培養 ・動物手術(慢性脳低灌流、浸透圧ポンプなど) ・ウイルス作製・投与 ・RNAseqデータ解析	・脳 ・アンチエイジング ・ミクログリア ・ネオニコチノイド ・抗体医薬		
ラ-114	鬼塚陽子 助教	群馬	【研究テーマ】 ・クルーズトリパノソーマ(T. cruzi)を用いた、寄生虫-宿主相互作用に関する研究。 ・in vitro, in vivo の系を使ったシャーガス病の治療薬探索 【研究ツール】 培養細胞および寄生虫の培養 培養細胞の顕微鏡観察(蛍光顕微鏡、共焦点顕微鏡)、遺伝子組み換え実験 マウスの薬剤投与、解剖、心エコー取得	分子寄生虫学 寄生虫-宿主相互作用 原虫感染マウス		
ラ-115	加藤大悟 助教	群馬	【研究テーマ】 ・慢性呼吸器疾患患者に対するリハビリテーションの効果 ・ひきこもり成人に対する支援 ・理学療法学生の臨床実習達成度に関する研究 ・競泳選手における障害予防に関する研究 【研究ツール】 歩数計、スパイナルマウス、筋硬度計、呼気ガス分析機器、 μ -tas、活動量計、ボッチャセット、撮影機器、質的データ分析ソフトウェア	身体活動、行動変容、セルフマネジメント、歩数計、上肢機能障害、COPD、胸郭出口症候群、間質性肺炎、立ち上がりテスト、運動誘発性低酸素血症、ひきこもり、行動変容、身体活動、ウェアラブルデバイス、地域理学療法、筋力トレーニング、ICT、遠隔医療、理学療法教育、OJT、スポーツ理学療法、学外教育、臨床実習、質的研究、競泳、障害予防、成長期、overuse		
ラ-116	菊地千一郎 教授	群馬	【研究テーマ】 ・非侵襲的脳機能計測法およびコンピュータープログラムを用いた高次脳機能計測 【研究ツール】 ・近赤外線スペクトロスコピー(fNIRS) ・刺激提示コンピュータープログラムによる認知機能測定	fNIRS,高次脳機能,認知神経科学		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-117	後藤七海 助教	群馬	【研究テーマ】 ・造血器腫瘍におけるDNA修復遺伝子(APEX1)機能解析 ・多発性骨髄腫における低酸素条件による遺伝子発現変動の網羅的解析 ・造血器腫瘍におけるDNA修復遺伝子多型解析 【研究ツール】 ・レンチウイルスベクターを用いた遺伝子組換え細胞株の樹立(生調研との共同研究) ・培養細胞を用いた薬剤等の評価 ・血液疾患患者のDNAサンプル群 ・次世代シーケンスによる網羅的解析(未来先端機構との共同研究)	多発性骨髄腫 急性骨髄性白血病 骨髄異形成症候群 塩基除去修復 腫瘍微小環境 CRISPR-Cas9 次世代シーケンス		
ラ-118	小林さやか 助教	群馬	【研究テーマ】 ・肺癌の組織および細胞診検体を対象とした、癌細胞の核の形状変化に関する研究および画像解析に関する研究 【研究ツール】 ・顕微鏡観察 ・核膜蛋白を免疫染色し、定量、評価 ・バーチャルスライドスキャナを用いた標本のデジタル画像化 ・デジタル画像を基にして核の画像解析を行い核の面積、周長、真円度の評価	・肺腺癌の組織、細胞診標本 ・核の形状変化(特に核の歪み) ・核の形状変化に関連する核膜蛋白 ・組織、細胞診標本のデジタル画像化と核の画像解析		
ラ-119	小林 匠 教授	群馬	【研究テーマ】 ・足関節捻挫の発生・再発予防 ・扁平足と関連疾患の病態解明 ・障害予防を目的とした靴やインソール、靴下の開発 【研究ツール】 ・超音波画像診断装置、ストレス撮影用固定具、筋力測定機器、表面筋電図、重心動揺計	運動器障害、スポーツ外傷、リハビリテーション、障害予防		
ラ-120	齊尾征直 教授	群馬	【研究テーマ】 - 核ラミナと核膜蛋白の果たす核形状変化に及ぼす各種腫瘍における役割の相違の探求 - 細胞内細胞現象の形成機序の解明 - 核内細胞質封入体形成機序の解明 - 病理組織・細胞診標本の画像データを用いたコンピュータ支援画像解析による病理組織の客観的評価法の開発 - 病理組織・細胞診標本の画像データを用いた機械学習・深層学習による臨床情報に基づいた病理形態学的特徴の解析 - 病理領域における染色原理の基礎的検討 - 病理領域における薄切技術の基礎的検討 【研究ツール】 - 機器:Whole Slide Scanner, 自動免疫染色装置, 画像解析用PC, 深層・機械学習用PC, ミクロトーム - 手法:特殊染色, 免疫染色, コンピュータ支援画像解析, 深層学習・機械学習	核ラミナ 核膜蛋白 細胞内細胞現象 核内細胞質封入体 病理診断・細胞診断 病理組織・細胞診標本の画像データ化 病理組織・細胞診標本のコンピュータ支援画像解析 病理組織・細胞診標本の機械学習・深層学習 病理標本の染色原理 病理標本の薄切原理		
ラ-121	齋藤貴之 教授	群馬	【研究テーマ】 ・血液疾患におけるDNA修復の役割解明 ・多発性骨髄腫の病態解明 ・血液疾患における遺伝子多型の役割 ・健診データや検体サンプルを用いた健康増進のための社会実装 ・多職種の医療安全教育におけるオンデマンドシステムの構築 【研究ツール】 ・real time PCR, Western blotなどの分子生物学的手法 ・多発性骨髄腫の細胞株 ・血液疾患の末梢血DNAサンプル ・細胞株のKOシステム ・RNAseq ・健診データ ・Python ・G-Learning	遺伝子多型,多発性骨髄腫,血液疾患,健診データ, KDB, データサイエンス, Python, Deep Learning, 実践的保健学データ人材育成プロジェクト, 医療安全,多職種連携教育		
ラ-122	柴田孝之 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・生体成分の高感度検出法の開発と新しい検体検査法の創製 ・発光を利用した新しい生体情報の可視化法と新しい生体検査法の創製 【研究ツール】 ・有機合成 ・紫外可視分光光度法 ・分光蛍光光度法 ・化学発光法 ・質量分析法 ・各種スペクトル(NMR, IR, CD)	・分析化学 ・有機化学 ・臨床化学		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-123	下田佳央莉 助教	群馬	【研究テーマ】 ・Mirror Neuron Systemの賦活が与える認知機能と情動へ影響 ・瞑想が認知機能・情動に与える影響と、その個人差の解明 ・がんのリハビリテーションの効果 ・動作分析における動作観察時の眼球運動特性と着眼点の特徴 ・海外研修がinternational posture に与える影響 【研究ツール】 ・近赤外分光法:fNIRS:脳機能計測装置 ・認知機能の検査 ・注意機能・実行機能の検査 ・心理状態の検査 ・気分状態の検査 ・Flow状態の検査 ・パーソナリティの検査 ・アイトラッカー ・アンケート	ミラーニューロン 脳活動・脳血流 前頭前野 認知機能 注意機能 情動 心理 気分 Flow 個人差 瞑想 がん リハビリテーション 日常生活活動 眼球運動 海外研修 教育		
ラ-124	多胡憲治 教授	群馬	【研究テーマ】 ①プロトがん遺伝子産物Rasを中心とした発がんシグナルの解析 ②Gタンパク質シグナルの破綻が引き起こす疾患発症メカニズムの解析 【研究ツール】 免疫沈降、培養細胞への遺伝子導入・発現、タンパク質精製、転写因子やタンパク質キナーゼ、Gタンパク質の機能解析、タンパク質複合体の精製・解析、タンパク質の分解系(ユビキチン・プロテアソーム、リソソーム分解など)の解析	Ras、Gタンパク質、発がんシグナル、がん抑制遺伝子産物、細胞老化、タンパク質複合体		
ラ-125	田中浩二 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・認知機能評価テストの開発 ・加齢に伴う認知機能低下に関する研究 ・地域在住高齢の社会参加向上に関する研究 【研究ツール】 ・質問紙調査 ・テキストマイニング	・高齢者 ・認知症 ・地域 ・社会参加		
ラ-126	十枝はるか 講師	群馬	【研究テーマ】 発達障害の2次障害の予防としての ・保育士、幼稚園・小学校教諭との協働 ・児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所のスタッフ対象との協働 【研究ツール】 ・ペアレント・トレーニング保育士・教師版(ティーチャー・トレーニング) ・行動チェックリスト ・COPM(本人や家族が主観的に重要と位置づける課題を選択した上で、その課題に対する遂行度と満足度を測る評価尺度) ・インタビュー	発達障害 早期支援 保育士、教師、通所支援事業所スタッフ、作業療法士		
ラ-127	土岐明子 助教	群馬	【研究テーマ】 ・糖尿病と神経変性疾患の相互増悪に対する治療法開発 ・インスリンポンルに対する赤外自由電子レーザー照射の効果検討 ・脂肪細胞分化に関わる分子機構の検討 【研究ツール】 ・培養細胞を用いた検討 ・マウスを用いた検討、組織および行動観察 ・DSC、CD解析など理工学府との共同研究による凝集体の解析	IAPP(膵島アミロイドポリペプチド) 糖尿病 タンパク凝集体 SFPQ(Splicing Factor Proline And Glutamine Rich)		
ラ-128	徳舛富由樹 教授	群馬	【研究テーマ】 マラリアやトリパノソーマといった原虫内における脂質代謝研究。 感染細胞の構造的、生化学的恒常性の維持機構の解明 脂質膜のリピドミクスと生物物理学的解析 高解像度ライブイメージングから解明する細胞内分子メカニズム 【研究ツール】 ・高解像度ライブイメージング ・質量分析計 ・コンディショナルノックアウト法 ・トランスクリプトーム解析 ・無細胞発現系によるタンパク質発現 ・リピドミクス解析 ・原子間力顕微鏡(AFM) ・ハイパースペクトラルイメージング	マラリア原虫 トリパノソーマ原虫 リン脂質 生体膜 アシル転移酵素 コレステロール ライブイメージング解析		
ラ-129	豊村暁 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・発話流暢性(吃音)に関する神経機構の研究 ・ポジティブ心理とネガティブバイアスの定量化 ・発話生成のボディイメージ 【研究ツール】 ・脳波、事象関連電位(ERP) ・磁気共鳴画像法(fMRI) ・MATLAB、LabVIEWを用いたプログラミング ・信号処理	発話生成、非流暢性、吃音 ヒトの神経科学、生理心理学的研究 画像研究、運動制御		
ラ-130	中澤理恵 助教	群馬	【研究テーマ】 ・成長期スポーツ障害の予防 ・モンゴル国における若年者のスポーツ外傷・障害調査 【研究ツール】 ハイスピードカメラ、3軸加速度計	スポーツ外傷、障害予防、成長期		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-131	中村和裕 教授	群馬	【研究テーマ】 タンパク凝集体の細胞間移動の解析 【研究ツール】 ・CD, DLS, 赤外分光 ・マウスの行動観察 ・培養細胞内の凝集体の挙動の評価	タンパク凝集体 ポリグルタミン病		
ラ-132	西島良美 講師	群馬	【研究テーマ】 ・子宮内膜病変における核の形状変化の解析 ・病理組織・細胞診標本を用いた形態学的研究 【研究ツール】 ・顕微鏡観察 ・免疫組織化学的解析 ・コンピューター支援画像解析 ・分子病理学的解析	子宮内膜病変 病理検査学 病理画像解析 細胞診断学		
ラ-133	野口直人 助教	群馬	【研究テーマ】 ・頸椎症患者の上肢の運動感覚機能の特性の調査 ・客観的上肢機能評価の開発 ・上肢機能と生活の質(Quality of life)と復職との関連性 【研究ツール】 ・把持(指でものをつかむ動作)機能の評価 ・リーチ機能(ものに手を伸ばす動作)評価 ・アンケート調査	頸椎症 上肢機能 客観的評価 Quality of life 復職・社会復帰		
ラ-134	久田剛志 教授	群馬	【研究テーマ】 ・呼吸ガス分析による炎症性呼吸器疾患の病態解析と呼吸リハビリテーションの効果 ・炎症性呼吸器疾患に対する抗炎症性脂質メディエーターの作用解析 ・COPD、喘息に関する病態解析 【研究ツール】 呼吸機能検査、呼吸ガス検査、動物実験、培養細胞を用いたin vitro実験	呼吸リハビリテーション、Myokine、COPD、気管支喘息、 間質性肺炎、呼吸生理学、気道炎症、呼吸ガス分析 アレルギー、動物モデル(遺伝子改変マウス)、脂質メ ディエーター、ω3脂肪酸、レゾルビン		
ラ-135	藤田行雄 教授	群馬	【研究テーマ】 ・神経変性疾患の神経病理学的研究 【研究ツール】 ・免疫組織染色 ・顕微鏡観察 ・クライオスタット	神経病学 神経病理学 神経変性疾患		
ラ-136	松井弘樹 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・脂肪酸の構成比などの質的制御による循環器、呼吸器、腎疾患の予防・治療へ向けた 基礎的および臨床的研究 ・心肥大、動脈硬化、肺気腫、腎障害モデル動物を用いた病態解析 ・生理機能検査装置を用いたストレス度判定、循環器疾患のリスク解析 【研究ツール】 ・遺伝子発現(QPCR)、タンパク発現(WB・免疫染色)解析 ・マウス・ラットによる病態モデルの作製 ・エコーによる機能的解析 ・培養細胞を用いた遺伝子の過剰発現、ノックダウン、薬剤等の評価 ・自律神経の心拍変動解析(交感神経、副交感神経) ・唾液サンプルによるストレスホルモンの解析	脂肪酸 質的制御 心肥大・心不全 動脈硬化 肺気腫 肺線維症 急性腎障害 自律神経(交感・副交感神経) ストレスホルモン		
ラ-137	三井真一 教授	群馬	【研究テーマ】 ・男女間や家族の絆による社会緩衝作用(social buffering)の脳内機構の解析 ・精神発達障害や社会行動異常を伴う精神疾患の分子細胞生物学的解析 【研究ツール】 ・顕微鏡観察(特に脳) ・げっ歯類での行動観察(薬剤の効果検証など) ・培養細胞を用いた薬剤等の評価	遺伝子操作マウス 一夫一婦制を呈するネズミ 神経科学 社会行動・学習・探索に関わる脳領域		
ラ-138	山上徹也 教授	群馬	【研究テーマ】 ・生活リハによる認知症進行予防効果の検討 ・日常生活歩行評価による認知症早期発見方法の検討 ・生活環境とADLの関係(例:車椅子の走行距離と心身機能の関連) 【研究ツール】 回想法用の道具、ソフト、運動プログラム(筋トレ、協調運動)、ipod、活動量計、認知機能 検査各種、ベッド用、車椅子用の体圧測定器、座位姿勢の分析ソフト、ストレス(自律神 経機能)測定機器、笑顔度測定機器、JINS MEME	認知症、認知症予防、リハビリテーション、フレイル、生 活歩行、生活環境、ADL、心身機能		
ラ-139	山路雄彦 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・生理的振戦の臨床応用 ・投球障害 ・義足歩行 ・地域包括ケアシステム 【研究ツール】 三次元動作解析装置、筋電図、加速度計、超音波診断装置、誘発筋電図、呼吸ガス分 析装置	生理的振戦、投球障害、義足、通いの場、フレイル		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-140	李 範爽 教授	群馬	【研究テーマ】 ・視線分析を通じた運転能力の評価 ・対人葛藤関係に着目した従業員満足度の向上 【研究ツール】 視線分析装置 行動分析 多職種連携企業診断	視線 高齢者運転 多職種連携 従業員満足		
ラ-141	岡美智代 教授	群馬	【研究テーマ】 ①生活習慣病患者の看護 ②「聞き書き」(life story book)の対話型AI の開発, 並びに効果検証 ③糖尿病性腎臓病患者の看護支援 ④統合医療 【研究ツール】 テーマティック分析, 介入研究, 調査研究, 共分散構造分析, 尺度開発	慢性腎臓病, 糖尿病, AI開発, 患者教育, レジリエンス, テキストマイニング, 森林療法		
ラ-142	恩幣宏美 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①看護職員の健康管理に関する研究 ・女性特有の健康課題 ・プレゼンティズム予防 ②看護職員のキャリア発達に関する研究 【研究ツール】 質的研究, 調査研究, 介入研究	健康経営, 女性特有の健康課題、プレゼンティズム予 防、キャリア自律、キャリア開発、ダイバーシティマネジメ ント		
ラ-143	牛久保美津子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①神経難病ケア ②終末期ケア ③在宅ケア ④緩和ケア 【研究ツール】 質的・量的研究	緩和ケア、神経難病ケア、家族ケア、在宅看取り、訪問 看護、退院支援		
ラ-144	京田亜由美 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①終末期がん患者の死生観 ②終末期がん患者と看護師のコミュニケーション ③化学療法患者の末梢神経障害による活動への影響 【研究ツール】 介入研究、半構造化面接、質的研究(現象学、内容分析)、活動計調査、末梢神経障害 尺度	終末期がん患者、生と死、コミュニケーション、末梢神経 障害、活動		
ラ-145	橋本紗織 助教	群馬	【研究テーマ】 ・がんサバイバーのピア・サポートに関する研究 【研究ツール】 質的研究(半構造化面接)	がん ピア・サポート		
ラ-146	近藤浩子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①看護学生および若手看護師のメンタルヘルス ②セルフコンパッション(マインドフルネス) ③精神障害からのリカバリ 【研究ツール】 調査研究、質的研究(KJ法)、介入研究	メンタルヘルス、ストレスマネジメント、セルフコンパッシ ョン、マインドフルネス、癒し技法、精神障害		
ラ-147	近藤由香 教授	群馬	【研究テーマ】 ①がん患者の睡眠に関する研究 ②がん患者と家族ヘリタクスを促す研究 【研究ツール】 質的研究(内容分析)、調査研究、介入研究	がん患者、睡眠、リラクセーション、ストレス緩和、緩和ケ ア		
ラ-148	金泉志保美 教授	群馬	【研究テーマ】 ①医療的ケア児の地域生活の支援 ②保育所等における子どもの健康支援 【研究ツール】 質的研究、介入研究	医療的ケア児、地域生活、退院支援、保健医療福祉連 携、保育所、		
ラ-149	高橋さつき 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①ICTを活用した患者教育の開発・評価 ②慢性腎臓病患者への教育的支援に関する研究 【研究ツール】 調査研究、介入研究、eラーニング、アプリケーションソフトウェア	患者教育、コンピュータ支援学習、ユーザビリティ、慢性 腎臓病、慢性疾患看護、マイクロラーニング		
ラ-150	佐藤江奈 助教	群馬	【研究テーマ】 ・変形性股関節症の保存療法、手術療法における身体機能 ・婦人科良性疾患の術前後経時的変化 ・器楽者の傷害対策と予防 【研究ツール】 超音波、HHD、デジタルカメラ、体組成計	変形性股関節症、X-P、婦人科良性疾患、疼痛、姿 勢、筋厚、器楽、傷害予防		
ラ-151	佐藤由美 教授	群馬	【研究テーマ】 ①保健師の人材育成 ②在日外国人の子どもの健康支援 ③特定健康診査・保健指導の現状分析・効果検証 【研究ツール】 質的研究(内容分析、M-GTA、エスノグラフィー、アクションリサーチなど) 記述疫学、分析疫学	保健師、人材育成、 在日外国人(在日ブラジル人) ヘルスリテラシー、 特定健康診査、特定保健指導		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-152	篠崎博光 教授	群馬	【研究テーマ】 ①女性の健康に関する研究 ②妊婦の喫煙・受動喫煙に関する研究 ③帝王切開の至適時期に関する研究 【研究ツール】 観察研究、介入研究	月経前症候群、月経前不快気分障害、月経困難症、喫煙、受動喫煙、妊婦、帝王切開、新生児呼吸障害		
ラ-153	小澤厚志 教授	群馬	【研究テーマ】 ①内分泌腫瘍症発症機構に関する研究 ②遺伝性疾患に関する研究 ③生活習慣病に関する研究 ④希少疾患レジストリ 【研究ツール】 分子生物学、生化学、遺伝学 マウスモデル、患者検体、疫学調査	分子生物学、遺伝子 内分泌腫瘍、がん、糖尿病 遺伝カウンセリング 代謝、マウスモデル、次世代シーケンス		
ラ-154	松井理恵 助教	群馬	【研究テーマ】 ①地域の健康づくりにおける住民との協働に関する研究 ②がん検診受診に関する研究 【研究ツール】 質的研究(内容分析、アクションリサーチ等)	保健推進員、エンパワメント、協働、地域の健康づくり、がん検診		
ラ-155	松本光寛 助教	群馬	【研究テーマ】 ①患者教育・看護師教育に関する研究 ②ICTを活用した教育に関するシステム開発に関する研究(AI・メタバース) ③慢性疾患看護(脳神経疾患、循環器疾患等)に関する研究 ④看護師の睡眠・ストレス・バーンアウトに関する研究 【研究ツール】 介入研究 調査研究 アプリケーションソフトウェア	慢性疾患看護、患者教育、ICT教育、アプリケーションソフトウェア開発(AI・メタバース)、睡眠、ストレス、バーンアウト、専門看護師		
ラ-156	上星浩子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①看護教育、看護師教育に関する研究 ②冷え性患者に関する看護技術の検証 ③看護センス尺度の開発・検証 【研究ツール】 質的研究、介入研究	看護教育、臨床判断、看護技術、尺度開発、教育プログラム		
ラ-157	新井陽子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①周産期うつ病の予防 ②周産期の家族支援 ③思春期の包括的性教育 【研究ツール】 構造化面接、家族尺度、介入研究	産後うつ病、介入研究、予防、多職種連携、包括的性教育		
ラ-158	深澤友子 助教	群馬	【研究テーマ】 ①早産児の母親への心理的支援に関する研究 ②早産児の母親への切れ目のない支援にむけた看看連携に関する研究 ③周産期のメンタルヘルスに関する研究 【研究ツール】 質的研究(半構造化面接)	母性看護、早産児、母親、メンタルヘルス、看看連携		
ラ-159	瀬沼 麻衣子 助教	群馬	【研究テーマ】 ①がん患者のQOLに関する研究 ②がん患者の意思決定支援に関する研究 【研究ツール】 半構造化面接	がん、QOL、意思決定、家族支援		
ラ-160	石川麻衣 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①行政保健師の機能・役割および活動の特質に関する研究 ②健康づくりの展開方法に関する研究 ③地域における健康危機管理に関する研究 【研究ツール】 質的研究(内容分析、ライフストーリー、質的統合法(KJ法)、アクションリサーチ、質的メタ分析など) コミュニティ・ミーティング、フォーカス・グループ・インタビューの企画・実施(ファシリテート)	健康づくり、健康増進計画、災害時保健活動、防災・災害の備え、子育て・子育て支援、高齢者を対象とした保健指導、ソーシャル・キャピタル、地区マネジメント		
ラ-161	大山良雄 教授	群馬	【研究テーマ】 ①糖尿病に関する研究(予防、療養指導など) ②リンパ浮腫に関する研究(療養指導など) 【研究ツール】 観察研究、介入研究	糖尿病、栄養指導、合併症、リンパ浮腫		
ラ-162	大庭志野 教授	群馬	【研究テーマ】 ①生活習慣病の予防疫学 ②生活習慣病の栄養疫学 【研究ツール】 大規模データベース	一次・二次・三次予防 糖尿病 糖尿病予備軍 ダイエタリーグリセミックインデックス インスリン分泌能 受動喫煙 禁煙		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-163	塚越 徳子 助教	群馬	【研究テーマ】 ①がんと認知症を併せ持つ患者への看護支援の研究 ②がん看護外来に関する研究 【研究ツール】 半構造化面接 多変量解析	がん、認知症、看護外来		
ラ-164	辻村弘美 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①在日外国人の健康やヘルスリテラシー ②途上国を対象とした看護技術や看護教育 ③認知症ケアにおけるWell-beingに関する研究 【研究ツール】 観察研究、質的研究、因子分析	途上国、在日外国人、認知症、ヘルスリテラシー、看護教育		
ラ-165	田鹿 毅 教授	群馬	【研究テーマ】 ・運動器、整形外科疾患における超音波運動器評価 ・運動器、整形外科疾患における疫学調査(発症危険因子の検討) ・運動器、整形外科疾患における理学療法介入に関する多角的評価 【研究ツール】 超音波、運動器検診	成長期スポーツ障害、投球障害、手外科疾患、肘関節疾患、高齢者、ロコモティブシンドローム		
ラ-166	内田陽子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①ICTを活用したケアシステム ②認知症ケア ③エンドオブライフケア ④在宅ケアの質向上・費用対効果・経営研究 ⑤ケアマネジメント ⑥災害時の認知症高齢者へのケア対応 ⑦火山噴火の地層や復興過程の歴史的調査 【研究ツール】 ICT,包括的BPSDケアシステム®の社会実装の実現 経済的評価、経営分析 フィールドワーク 現地発掘調査 SPSSでの統計分析	ICT、包括的BPSDケアシステム®、認知症、BPSD、エンドオブライフケア、在宅ケア、費用対効果、経営、ケアマネジメント、ケアマネジメント、災害、浅間山		
ラ-167	柏瀬 淳 助教	群馬	【研究テーマ】 ①小児がん患児の治療継続中の日常生活行動と親の思いに関する研究 ②在宅療養をする医療的ケア児やその家族を支える看護に関する研究 【研究ツール】 半構造化面接	在宅、小児、訪問看護、医療的ケア児		
ラ-168	八木原ひなた 助教	群馬	【研究テーマ】 看護師のメンタルヘルスに関する研究 【研究ツール】 調査研究	看護師、メンタルヘルス、セルフコンパッション		
ラ-169	牧野孝俊 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①多職種連携教育の効果検証 ②児童虐待の世代間伝達 【研究ツール】 ①mATHCTS ②ビネット尺度	多職種連携、IPE、児童虐待、世代間		
ラ-170	堀田かおり 助教	群馬	【研究テーマ】 ①高齢者の閉じこもり予防に関する研究 ②高齢者の自主グループ支援に関する研究 【研究ツール】 質的研究(半構造化面接)	高齢者、閉じこもり予防、自主グループ、強み、well-being		
ラ-171	梨木 恵実子 助教	群馬	【研究テーマ】 ①在宅の慢性呼吸器疾患の研究と訪問看護の支援 ②在宅の認知症の研究 【研究ツール】 調査研究	老年看護、呼吸ケア、認知症、訪問看護		
ラ-172	國清 恭子 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①出産体験の振り返りの支援 ②出産体験に関する看護介入モデル、教育プログラムの検討 【研究ツール】 出産体験の振り返りアセスメントツール	出産体験、出産体験の振り返り、介入研究		
ラ-173	齋藤 明香 助教	群馬	【研究テーマ】 ①高年妊産婦に関する研究 ②新生児行動観察に関する研究 【研究ツール】 質的研究、介入研究	高年妊婦、NBO		
ラ-174	吉原 亮平 助教	埼玉	生物の遺伝情報を担うDNAは、様々なDNA損傷因子に曝されています。DNA損傷は遺伝子突然変異を誘発し、発がんや遺伝病、細胞老化の原因となります。生物はこれらの脅威から身を守るため、DNA損傷修復機構を獲得しました。この機構は大腸菌から植物、人に至るまで、地球上に存在するほぼ全ての生物が有しており、生物は各々の生存戦略に適したDNA修復システムを構築しています。私は、高等植物と微生物を用いて、DNA損傷修復、変異誘発、細胞の老化に関する基礎研究を行うことで、人以外の生物がもつDNA損傷修復機構の全貌解明に取り組んでいます。将来的には、これらの基礎研究から得られた知見を有用生物の生長促進や病原性微生物による病害低減などに応用して行きたいと考えています。	DNA修復	大腸菌	放射線

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-175	松下 隆彦 助教	埼玉	糖鎖は糖鎖受容体と結びつくことで細胞間の情報伝達を行います。糖鎖単体では弱い結合しか持ちません。しかし、複数の糖鎖が集まると、その効果は単純な足し算をはるかに超え、時には数百倍から数十万倍にも及ぶ驚異的な力を発揮することがあります。これを「多価効果」と呼びます。 私たちの研究の特徴は、この自然界の巧妙な仕組みを人工的に再現し、さらに強化することです。糖鎖や次世代抗体など、さまざまな分子を集積化した人工分子を設計し、その相互作用を詳しく調べています。分子が協力し合う力を上手に活かすことで、医療の未来に貢献できることを願っています。	糖鎖	抗体	多価効果
ラ-176	高橋 大輔 助教	埼玉	●凍結ストレス以外にも、植物の様々な環境ストレスの耐性評価を行うことができます。 ●農作物の付加価値として重要な単糖や多糖の定量のほか、多糖の組織分布解析などがあります。 ●環境ストレス耐性とバイオマスのトレードオフ関係にも着目しています。	植物	環境ストレス	凍結耐性
ラ-177	西山 佳孝 教授	埼玉	●微細藻類ナノクロロプシスで油脂を高効率で高生産させる技術の開発 ●微細藻類シアノバクテリアで遊離脂肪酸を細胞外生産させる技術の開発 ●微細藻類の光合成の強光耐性を向上させる技術の開発 ●微細藻類の光合成の高温耐性を向上させる技術の開発	微細藻類	バイオ燃料	再生可能エネルギー
ラ-178	米山 香織 准教授	埼玉	●構造的に不安定で壊れやすいストリゴラクトンの同定・定量を行う事ができます ●ストリゴラクトンの機能が明らかになったのは2000年代であり、その生合成経路や分泌制御メカニズムなど不明なことばかりで、新規参入しやすいです ●日本だけでなくイスラエル、アメリカ、イタリア、オーストラリアなど海外との共同研究も積極的に行なっています	ストリゴラクトン	植物ホルモン	AM 菌
ラ-179	半田 友衣子 准教授	埼玉	●特許取得済み(「配位高分子化を利用するレアメタルの水系分別沈殿法」特許第6411199号) ●新規有機配位子の設計と合成が可能なら、さらなる分離効率化が可能 ●有機溶媒を使用しないレアアース相互分離	ネオジム	ジスプロシウム	低環境負荷
ラ-180	高橋 朋子 准教授	埼玉	●細胞死を引き起こすRNA ウイルスの感染が、microRNA により制御されるメカニズムを解明。 ●核酸医薬品としての応用が期待されるsiRNA とmicroRNA などの小分子核酸の抗ウイルス機能を解明中。 ●小分子核酸の核酸医薬としての応用	microRNA	ウイルス防御機構	核酸医薬
ラ-181	坂田 一郎 教授	埼玉	●ヒトの消化管運動モデル動物を用いた創薬開発 ●消化管運動改善薬のスクリーニング及び作用機序の解明	消化管運動	創薬	スinks
ラ-182	乙須 拓洋 准教授	埼玉	●脂質二重膜の物性解析を定量的に行える ●膜結合蛋白質と脂質二重膜の相互作用解析ができる ●脂質二重膜を構成する2つの単層膜中での脂質動態を個々に計測できる ●ニーズに合わせた顕微鏡装置の構築ができる	細胞膜	生物物理化学	脂質二重膜
ラ-183	坂口 美幸 助教	埼玉	●生体高分子の構造ゆらぎを詳細に解析する方法の開発 ●細胞内環境が与えるダイナミクスへの影響の解析 ●一分子レベルで生体高分子の反応経路を定量解析 ●細胞内における生体高分子の性質の高精度解析	分光	タンパク質	核酸
ラ-184	鈴木 陽太 助教	埼玉	●どこでも、だれでも使える簡便な分析システムの開発 ●多段階の有機合成操作を必要としない、単純な構造の分析試薬の開発 ●特許出願済み(特願2022-129691) ●D-グルコースを光らせる分析試薬の開発 ●糖との結合によって溶液の色調が変化する分析試薬の開発 ●アデニン三リン酸を光らせる分析試薬の開発	分析試薬		発光
ラ-185	松永 康佑 准教授	埼玉	●生体分子のシミュレーションにおいて、スパコンを用いた高度な計算から、複数の市販ソフトウェア、フルスクラッチ開発コードを用いて論文を出版した経験があります ●創薬や材料開発において、実験結果を説明するための構造・物性情報が必要となる際にシミュレーションからそれをサポートすることができます ●市販の分子モデリングソフトでは解決できない問題の相談に乗ります	分子シミュレーション	生体分子	統合モデリング
ラ-186	入山 太嗣 助教	埼玉	●AIを活用したカメラ画像信号処理技術により、RAW画像から高品質なカラー画像を復元できます。 ●直感的で高品質な写真編集により、モバイルカメラのユーザ体験が向上できます。 ●(活用例)AIを活用したスマートフォン向けカメラ画像信号処理アルゴリズムの開発	画像処理	コンピュータショナルフォトグラフィ	AI
ラ-187	加藤 有希子 教授	埼玉	●多くの研究論文、講演、研究著書に加え、2021年度から自著の小説の出版をはじめています。 ●私が小説執筆をはじめたのは2008年ですが、それ以来、書き溜めたものを徐々に出版し、「美」がなんであるのかを、学術だけではなく、芸術の分野から広めています。	美しさ	共感	答えのない問
ラ-188	石阪 督規 教授	埼玉	●インターンシップマッチングサイトの企画・運営 ●オリジナルのアセスメントテストを用いた企業研修・コンサルティング ●人口減少地域のコミュニティ再生(三重県尾鷲市など全国各地) ●アセスメントテスト(長所発見テストVSAT(Visualize Strength Assessment Test))の開発 ●企業での人材育成プログラムの実施(研修、講演)	地域創生	人材育成	若者就業支援
ラ-189	横山 悟 教授	埼玉	内発的モチベーションや自己効力感、学習成果に及ぼす影響力が強いとされている。本研究では、どのようなポイントを押さえれば遠隔教育において学習者の内発的モチベーションや学業に関する自己効力感を高められるか、についての実証的な研究を行っている。実証的な研究結果に基づいたモチベーションを高める方略を実装していないような遠隔教育教材に対して、実証的な研究を行い、改善を促すことが可能となる。	遠隔教育	モチベーション	学習意欲
ラ-190	谷津 修一 准教授	埼玉	●障がいのある学生の修学支援 ●障がい者の権利擁護 ●バリアフリー環境の整備	障がい者支援	修学支援	共生環境の実現

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-191	瀬山 紀子 准教授	埼玉	●様々な「人権問題」に向き合い、課題解決を目指すことがこの先の企業活動においても重要なテーマだと考えます ●ジェンダー平等、障害のある人の権利、性の多様性の尊重などのダイバーシティの推進を進めていくことが課題解決の鍵になると考えています ●災害支援におけるジェンダー・多様性配慮のガイドライン作成 ●ジェンダー・多様性をベースにしたまちづくり、コミュニティづくり ●当事者参加型の多様性理解研修プログラムの開発	人権	ジェンダー平等	インターセクショナリティ
ラ-192	薩 秀夫 教授	群馬	超高齢社会を迎えた現在の日本では予防医学が重要であり、さらに「健康寿命」の延伸を目指して、病気の予防や健康増進が期待される食品成分の探索・解析を主にモデル細胞を用いて取り組んでいます。	機能性食品	食品成分	疾病予防